

共用品推進機構だより 2016年05月20日(07)

目次

(31) 賛助会員ニュース

- ▽「本、視覚障害者も検索簡単 電子図書館システム開発
／大日本印刷、図書館流通センターなど4社」

(32) 各種催しとお知らせ

- ▽「『コミュニケーション支援ボードデジタル版』公開のお知らせ」
- ▽「『第9回 ECOMO 交通バリアフリー研究助成報告会』開催のお知らせ」

(33) 製品関連記事

- ▽「耳の不自由な人も AED 使いやすく
／フィリップスエレクトロニクスジャパン」
- ▽「熱中症危険度 絵や音で5段階に／タニタ」
- ▽「車乗降時、手すり代わりに／スマートライフ研究所」

(34) サービス関連記事

- ▽「ワンランク上の旅いかが サミット会場や海外人気ホテル／日本旅行」

(35) 行政関連記事

- ▽「障害ある子 学校が『カルテ』 小中高通じ支援へ／文部科学省」

(36) その他、各種関連記事

- ▽「ALS 患者の表現支援 センサーで状態把握／アグレックス」

(37) 新刊紹介

- ▽『発達障害の可能性のある子どもの保護者支援』

保育士による気づきからの支援』

▽『自閉症スペクトラムの謎を解く

高機能アスペルガー障害は、話ことば獲得障害』

(31) 賛助会員ニュース

▼「本、視覚障害者も検索簡単 電子図書館システム開発

／大日本印刷、図書館流通センターなど4社」

大日本印刷や日本ユニシスなど4社は視覚障害者のための電子図書館システムを開発した。インターネット上に本が用意されており、本の検索などに音声読み上げソフトを活用し、独力で読みたい本を探して読むことができる。

4月に実証試験を始めており、夏に図書館にシステム販売を始める。

システムはパソコンで使える。本を探す際、音声読み上げソフトが働いて、タイトル名や著者名を読み上げてくれる。専用閲覧ソフトで本の内容を読み上げる。文字を大きく見やすくすることもできる。

キーボードで操作する。簡単に扱えるように再生や停止、ページ送りができるショートカットキーを搭載した。

大日本印刷が電子図書館システム全体の企画や運営を担い、日本ユニシスがシステムを開発・保守する。大日本印刷グループの図書館流通センターが販売や電子書籍のデータベースの制作を担当する。

(日経産業新聞 5月18日6面より抜粋)

(32) 各種催しとお知らせ

▼「『コミュニケーション支援ボードデジタル版』公開のお知らせ」

2016年3月31日に、ソフト面(人的対応)におけるバリアフリー化の一環として、「コミュニケーション支援ボードデジタル版」の公開を開始しました。

2007年度に紙版を共用品推進機構と共に作成し配布しておりますが、この度、タブレット等でご利用頂けるデジタル版を作成しました。

<デジタル版の主な特徴>

- ・ 選択回数の少ないシンプルな構造
- ・ 多言語対応（日本語を含めて 19 カ国語に対応）
- ・ ブラウザ対応なのでダウンロードの必要なし
- ・ 端末毎の編集、設定が可能（カスタマイズ）
- ・ アクセシビリティ対応－「基本会話」、「筆談」ページを作成
- ・ 便利機能－「路線図」、「遅延情報」ページをリンク（ヴァル研究所）

2020 年には東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。これから益々海外からのお客様が増加することが予想され、コミュニケーションをサポートするツールの需要も増加していくのではないかと思いますので、今回公開を開始したデジタル版や、配布している紙版をお役立ていただければと思います。

コミュニケーション支援ボードウェブサイト

http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/comboard/comboard_top.html

お問合せ

(公財) 交通エコロジー・モビリティ財団 バリアフリー推進部

TEL : 03-322-6673 E-mail : com_info@ecomom.or.jp

▼ 『第 9 回 ECOMO 交通バリアフリー研究助成報告会』開催のお知らせ

平成 26 年度、平成 27 年度研究助成対象事業について、成果報告を行う報告会を開催することになりました。

詳細は以下 URL より

http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/bfyosei/2016/bfyosei_2016_report9_top.html

日時：2016 年 6 月 21 日（火）15:45～17:40（懇親会は 17:45～18:30）

場所：日本財団 2 階 第 1～3 会議室

<http://www.nippon-foundation.or.jp/who/about/access/>

参加料：無料（懇親会は有料）

お申込、お問合せ

(公財)交通エコロジー・モビリティ財団バリアフリー推進部

TEL : 03-3221-6673 Email : jyosei@ecomom.or.jp

(33) 製品関連記事

▼「耳の不自由な人も AED 使いやすく ／フィリップスエレクトロニクスジャパン」

フィリップスエレクトロニクスジャパンは、耳の不自由な人でも操作しやすい自動体外式除細動器（AED）を発売した。ボタンの光る部分を大きくするなど本体のデザインを工夫し、音声ガイドが聞こえなくても操作できるようにした。

販売を始めたのは「ハートスタート HS1+」と「ハートスタート FRx+」で、いずれも日本限定モデル。本体は丸みを帯びたデザインを採用し、持ち運びしやすいようにした。

付属のイラストとボタンの点滅により、耳の不自由な人でも迷うことなく操作できるようにしたという。

AED の使い方だけでなく、電気ショック後の心臓マッサージや人工呼吸の方法も、音声だけでなくイラストとボタンの点滅でガイドする。

（日経産業新聞 5月17日9面より抜粋）

▼「熱中症危険度 絵や音で5段階に／タニタ」

タニタは、熱中症の危険度をわかりやすく表示する携帯型センサー機器を発売したと発表した。湿度や周囲の熱環境などから「暑さ指数」を算出、イラストとブザー音で危険度を5段階でお知らせする。販売を始めたのはコンディションセンサー「TC-200」。

日射熱や放射熱を測れる専門の黒球温度計を搭載しており、屋外の直射日光の下でも使用できる。

気温計、湿度センサーに加え黒球温度計を使うことで正確に「暑さ指数」を算出。「注意」「警戒」など5段階で周囲の熱中症の起きやすさをイラストとブザー音で表示する。

（日経産業新聞 5月17日14面より抜粋）

▼「車乗降時、手すり代わりに／スマートライフ研究所」

車への乗降動作を補助する安全カーツール「オリレバー」。下半身の筋力が衰えた高齢者向けに開発した。くの字形になったハンドルで、全長22.5セ

ンチ。使うときは、金属部分を車のドアストライカー（ドア側のツメとかみ合ってドアを保持する目的で車体側に取り付けられたU字形の出っ張り）に挿し込むだけ。車への乗降の際、同ハンドルを手すりとして利用すれば、思わぬ転倒事故を防ぐことができる。

もしもの緊急時を想定し、本体に内蔵されたカッターでシートベルトを切断したり、金属部分で窓ガラスをたたき割ったりもできる。

（日経MJ 5月18日13面より抜粋）

（34）サービス関連記事

▼「ワンランク上の旅いかが サミット会場や海外人気ホテル／日本旅行」

日本旅行はシニア層の多様なニーズに応える品ぞろえを強化する。

予約が困難なホテルに泊まれるなど限定感のあるツアー「極みの旅」を本格販売。他社を使わず自社の販売店など直販に限り、シニア市場に直接売り込みをかける。海外旅行を含めワンランク上の旅に関心が高いシニアを取り込む。

「極みの旅」は今月から店頭で本格的に販売する。国内旅行では5月の主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）の会場となる「志摩観光ホテルクラシック」に泊まれる商品を用意。海外旅行では水族館の水槽で泳ぐ魚の姿を客室で楽しめる、シンガポールで人気のホテルに泊まる商品もそろえた。

（日経MJ 5月20日9面より抜粋）

（35）行政関連記事

▼「障害ある子 学校が『カルテ』 小中高通じ支援へ／文部科学省」

障害のある子どもを小学校から高校まで一貫して支援し、進学や就労につなげるため、文部科学省は進学先にも引き継げる「個別カルテ（仮称）」を作るよう、各校に義務づける方針を固めた。通常学級に通う比較的軽い障害や発達障害の子どもも対象で、2020年度以降に導入する。

（朝日新聞 5月15日1面より抜粋）

(36) その他、各種関連記事

▼ 「ALS 患者の表現支援 センサーで状態把握／アグレックス」

IT ホールディングス子会社のアグレックスは、全身が次第に動かなくなる難病、筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者向けのコミュニケーション支援のツールを開発したと発表した。額に付けたセンサーから得られる生体信号を基にし、動けなくて表現ができない患者の状態を推測できるという。

「こころかさね」という名称のツールを、センサー開発などのニューロスカイジャパンと共同で開発した。

（日経産業新聞 5月19日9面より抜粋）

(37) 新刊紹介

▼ 『発達障害の可能性のある子どもの保護者支援
保育士による気づきからの支援』

子どものためと“保護者のため”の板挟みになる保育士のためのテキスト。保育士による発達障害の可能性のある子どもの保護者支援の課題を明らかにし、保護者支援における保育士の役割と支援方法を提示する。

著：木曾陽子（きそ・ようこ）

発行：晃洋書房

本体価格：2400円（税別）

ISBN：978-4-7710-2703-9

▼ 『自閉症スペクトラムの謎を解く
高機能アスペルガー障害は、話ことば獲得障害』

最新の学問的成果と手記・症例をもとに、自閉症スペクトラムを解明。村上靖彦の提唱する概念「視線触発」を紹介し、高機能アスペルガー症候群を中心として、「自閉症スペクトラムは言語獲得障害によって生じる」ことを伝

える。

著：別府真琴（べっふ・まこと）

発行：花伝社

本体価格：1700 円（税別）

ISBN：978-4-7634-0771-9

（編集後記）

共用品推進機構の情報誌『インクル』は100号（28年1月25日発行）から、紙面のリニューアルをいたしました。読みやすくなったとの感想を多く頂いておりますが、更に読みやすいものにしていきたいと思っております。

情報誌に読者アンケートを同封しておりますので、知りたい・聞きたい内容など、様々なご意見、アイデアをお伺いできますと幸いです。

新しい『インクル』（目次）は以下からご覧いただけます。

<http://www.kyoyohin.org/ja/publicity/inkuru/index.php> （森川美和）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>